令和６年度　第３学年　国語科　評価・評定

１．評価基準（各単元に概ね共通しています。）

評価の観点		Bとされる基準
１． 知識・技能		○２年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読み、学年別配当表の漢字を文章で使い慣れている。 ○慣用句や四字熟語などについて理解を深め、和語、漢語、外来語などを使い分け、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ○具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ○歴史的背景に注して古典を読んでその世界に親しみ、一節を引用して使っている。 ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 ○身のまわりの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。
２． 思考・ 判断・ 表現	話すこと	○社会生活の中から話題を決め、多様な考え方を想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開を考え、話の構成を工夫している。 ○場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ○話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価し、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○進行を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。
	書くこと	○目的に応じて社会生活から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ○文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように、論理の展開を考えて、文章の構成を工夫している。 ○表現法を考えたり資料を適切に引用したりして、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫している。 ○目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 ○論理の展開について、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出している。
	読むこと	○文章の種類を踏まえ、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○文章を批判的に読み、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の考えを持っている。
	書写	○文字を書く上での留意点を確認したり、考えたりしながら書いている。
３． 主体的に学習に取り組む態度		○学習の見通しを持って、粘り強く、自らの学習を調整しながら課題に取り組もうとしている。 ○積極的に意見を発表したり、工夫しながら板書をノートしたり、発展的な内容を自ら調べたり、探究心を持って主体的に課題に取り組もうとしている。 ○提出物は学習の見通しを持って完成させ、期限内に提出しようとしている。 ○課題の要点を的確に理解し、自分なりに創意工夫しながら丁寧に取り組もうとしている。 ○自らの学習を振り返り、成果を確認し、課題を見出そうとしている。

２．評価方法（次の資料を総合して評価します。）

定期テスト・小テスト・プリント・ノート・ワーク・漢字練習帳・聞き取りテスト・話し合い活動・書写作品・その他提出物・授業への取り組み

	配分	中間考査	期末考査	小テスト・プリント	ノート・他	授業取り組み
知識・技能	１００点	◎	◎	◎	○	○
思考・判断・表現	１００点	◎	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	１００点	○	○	◎	◎	◎

【達成率】Ａ＝８０％以上　Ｂ＝５０％以上　Ｃ＝５０％未満　　◎＝とても重視する　○＝重視する

【評　定】５＝９０％以上　４＝８０％以上　３＝５０％以上　２＝２０％以上　１＝２０％未満

令和6年度　評価計画

教科：社会科（歴史）　第1学年，第2学年，第3学年

1. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査（中間、期末、学年末）、単元末テスト

・ノート

・提出物

・授業への取組み

②観点別評価と各資料との関係

・観点別評価で各資料がどのくらいのウェイトを占めているかを示しています。

◎・・・とても重視する

○・・・重視する

学習活動 / 観点	重み付け	単元末テスト 定期考査	ノート	提出物の内容	授業への取組み
知識・技能	100%	◎	○	◎	○
思考・判断・表現	100%	◎	◎	◎	○
主体的に学習に取り組む態度	100%	○	◎	◎	◎

令和6年度　評価計画

教科：社会科（公民）　第3学年

1. 評価規準

・観点別学習状況の[B]にそうとうするものが、評価規準です。

単元など	主な評価規準
第1章 現代社会と私たち	（知識・技能）　現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身に付けている。
	（思考・判断・表現）　現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の位置や空間的な広がり、推移や変化、相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	（主体的に学習に取り組む態度）　現代社会の特色や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。

単元など	主な評価規準
第２章 個人の尊重と日本国憲法	〔知識・技能〕　人間の尊重の考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。
	〔思考・判断・表現〕　対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、「ちがいのちがい」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。
	〔主体的に学習に取り組む態度〕　現代の社会事象を踏まえ、人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第３章 現代の民主政治と社会	〔知識・技能〕　国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身に付けている。
	〔思考・判断・表現〕　政治に関する様々な事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。
	〔主体的に学習に取り組む態度〕　国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。

単元など	主な評価規準
第４章 私たちの暮らしと経済	〔知識・技能〕　身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について理解している。
	〔思考・判断・表現〕　対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
	〔主体的に学習に取り組む態度〕　市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。

単元など	主な評価規準
第5章 地球社会と私たち	〔知識・技能〕　世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重と協調、各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。
	〔思考・判断・表現〕　様々な統計資料や写真、新聞記事などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、それらを解決する方法について、持続可能な社会の観点から的確に表現している。
	〔主体的に学習に取り組む態度〕　国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追及し、より良い地球社会を　築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。

2. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査（中間、期末、学年末）

・単元末テスト

・ノート

・提出物

・授業への取組み

②観点別評価と各資料との関係

・観点別評価で各資料がどのくらいのウェイトを占めているかを示しています。

◎・・・とても重視する

○・・・重視する

学習活動／観点	重み付け	定期考査	単元末テスト	ノート	提出物の内容	授業への取組み
知識・技能	100%	◎	◎	○	○	○
思考・判断・表現	100%	◎	◎	◎	◎	○
主体的に学習に取り組む態度	100%	○	○	◎	◎	◎

数学科　　第３学年

１　以下の目標について、①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度の３観点から評価します。

１章　文字式を使って説明しよう［多項式］	・分配法則を用いて、式の展開ができる。 ・分配法則や乗法公式をもとに、因数分解ができる。 ・式の展開や因数分解を利用して、数や図形の性質などを証明する問題を解決できる。 ・素数の意味を理解し、自然数の素因数分解ができる。
２章　数の世界をさらにひろげよう［平方根］	・平方根の意味、大小関係、近似値について理解する。 ・平方根の性質を使って、平方根の簡単な四則計算ができる。
３章　方程式を利用して問題を解決しよう［２次方程式］	・２次方程式とその解の意味を理解する。 ・いくつかある２次方程式の解法を理解し、それぞれの解き方を習得する。 ・２次方程式を利用して、いろいろな問題を解決することができる。 （・解の公式を用いて２次方程式を解くことができる。）
４章　関数の世界をひろげよう［関数ｙ＝ａ×２］	・２乗に比例する関数の意味を理解する。 ・関数ｙ＝ａ×２ のグラフをかくことができ、その特徴について理解する。 ・日常の様々な事象の中に関数関係があることを理解する。
５章　形に着目して図形の性質を調べよう［相似な図形］	・相似、相似の位置、相似の中心、相似な図形の性質について理解する。 ・三角形の相似条件を理解し、相似条件を使っていろいろな事柄を証明する。 ・比の性質を利用し、三角形と平行線、平行線と線分の長さの比について成り立つ定理を導き、それを活用することができる。 ・中点連結定理を理解し、活用することができる。
６章　円の性質を見つけて証明しよう［円］	・円周角の定理、その逆を理解しそれを活用して問題を解くことができる。
７章　三平方の定理を活用しよう［三平方の定理］	・三平方の定理とその逆を理解し、それを活用して問題を解くことができる。 ・三平方の定理を、平面図形や空間図形における図形の計量に活用することができる。
８章　集団全体の傾向を推測しよう［標本調査］	・標本調査の意味、その必要性を理解している。 ・簡単な場合について標本調査を行い母集団の傾向を説明することができる。

２　評価方法

①　下記の資料を総合して評価します。

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト（単元テスト、休み明けテスト）
- 授業のプリント、問題集等の提出物の内容（宿題を含む）
- 授業時の取り組み

②　観点別評価と各評価資料との関係

・観点別評価で、各資料がどの位のウエイトを占めるかを示しています。

◎とても重視する　○重視する　△参考にする場合がある

観点	配分	中間考査	期末考査	小テスト	提出物	授業の取り組み
知識・技能	１００	◎	◎	◎	○	△
思考・判断・表現	１００	◎	◎	○	○	△
主体的に学習に取り組む態度	１００	○	○	△	◎	◎

【達成率】Ａ＝８０％以上　Ｂ＝５０％以上　Ｃ＝５０％未満

【評　定】５＝９０％以上　４＝８０％以上　３＝５０％以上　２＝２０％以上　１＝２０％未満

1．評価規準　　観点別学習状況の「B」に相当するものが、評価規準です。

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元1 運動と エネルギー	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら，力のつり合いと合成・分解，運動の規則性，力学的エネルギー，エネルギーを理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	運動とエネルギーについて，見通しをもって観察，実験を行い，その結果を分析して解釈し，力のつり合い，合成や分解，物体の運動，力学的エネルギー，エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また，探究の過程を振り返っている。	運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり，振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
単元2 生命の つながり	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら，生物の成長とふえ方，遺伝の規則性と遺伝子，生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	生命の連続性について，観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，生物の成長とふえ方，遺伝現象，生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また，探究の過程を振り返っている。	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
単元3 自然界の つながり	日常生活や社会と関連付けながら，自然界のつり合いについて理解するとともに，微生物の働きなどを調べる観察，実験などに関する技能を身に付けている。	身近な自然界のつながりなどを調べる観察，実験などを行い，自然界のつり合いについて，科学的に考察して判断している。	自然と人間に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
単元4 化学変化と イオン	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら，水溶液とイオン，化学変化と電池を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また，探究の過程を振り返っている。	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
単元5 地球と宇宙	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら，天体の動きと地球の自転・公転，太陽系と恒星を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	地球と宇宙について，天体の観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また，探究の過程を振り返っている。	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
単元6 地球の明るい 未来のために	日常生活や社会と関連付けながら，生物と環境，エネルギーと物質，自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察，実験などを行い，自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について，科学的に考察して判断している。 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について，見通しをもって観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈するとともに，自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について，科学的に考察して判断している。	自然と人間に関する事物・現象，科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

2．評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査　・小テスト　・観察実験のプリント、レポート　・授業プリント

・提出物の内容　・授業への取り組みの姿勢

②観点別評価と各評価資料との関係　※観点別評価で、各資料がどのくらいの割合を占めるか示しています。

◎…とても重視する　○…重視する　△…参考にする場合がある

学習活動 ＼ 観点	重み付け	定期考査	小テスト	観察実験のプリント レポート	授業プリント	提出物の内容	授業への取り組みの姿勢
知識・技能	100	◎	○	◎	◎	○	
思考・判断・表現	100	◎	○	◎	◎		
主体的に学習に取り組む態度	100			◎	◎	○	○

音 楽 科

第3学年

1．評価規準

歌唱	思考・判断・表現	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
	知　識	・曲想と音楽の構造や歌詞と内容および曲の背景との関わりについて理解している。 ・声の音色や響きおよび言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。
	技　能	・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
器楽	思考・判断・表現	・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。
	知　識	・曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。
	技　能	・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞	思考・判断・表現	・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
	知　識	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
共通事項	思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
	知識・技能	・音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。

2．評価基準および評価方法

① 下記の資料を総合して評価します

・実技テスト（歌唱・器楽）　・授業レポート（ワークシート・鑑賞レポート・合唱レポートなど）

・定期考査（期末）　・授業時の取り組み

② 観点別評価をするにあたって、各評価資料がどの位ウエイトを占めるかを示しています。

◎・・・・・とても重視する　○・・・・・重視する

観点＼学習活動	重み付け	実技テスト	授業レポート	定期考査	授業時の取り組み	指導の重点や評価するにあたって重視することがら
知識・技能	100	◎	◎	◎	◎	必要な知識を理解し、表現する技能を身につけている。
思考・判断・表現	100	◎	◎	○	◎	知識や技能を生かし、表現の創意工夫をしている。
主体的に学習に取り組む態度	100	○	◎		◎	課題解決のために粘り強く努力し、他と協働しながら学習している。

美術科　　第３学年

1　内容のまとまりごとに、以下の規準をＢとして評価する。

知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。
思考・判断・表現	・自然の造形や美術作品などの造形のよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えている。 ・主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

2　評価方法

①　下記の資料を総合して評価します。

・授業での取り組み　　・作品に関するもの
・定期考査　　・プリント等

②　観点別評価と各評価資料との関係

◎大変重視する　　○重視する

	重み付け	授業での取り組み	ワークシートなど	アイデアスケッチなど	制作（途中段階）	制作（完成段階）	定期テスト	鑑賞など
知識・技能	100 点		○	○	◎	◎	○	○
思考・判断・表現	100 点		○	○	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100 点	◎	○	○	○	◎		○

令和６年度　保健体育科　評価基準計画（男女）
第１・２・３学年

保健体育目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

体育分野

体つくり運動	・体を動かす楽しみや心地よさを味わい、動きを高める方法を理解し、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができる。
器械運動	・マット運動／回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行え、発展技や組み合わせが出来る ・跳び箱運動／切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行え、発展技や組み合わせが出来る。 ・平均台運動／体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行え、発展技や組み合わせが出来る。 ・鉄棒／上がり技、中技、下り技の支持、回転系の基本的な技を滑らかに行え、発展技や組み合わせが出来る
陸上競技	・短距離・リレー／滑らかな動きで早く走ること、バトンのタイミングをあわせることができる。 ・長距離走／ペースを守り一定の距離を走ることができる。 ・ハードル／リズミカルに走り、ハードルを滑らかに越すことができる。 ・走り幅跳び／スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳び／リズミカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。
水泳	・クロール／手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎ／手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎ／手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライ／手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。
球技	・ゴール型／ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防ができる。（サッカー・バスケットボール） ・ネット型／ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防ができる。（バレーボール、バドミントン） ・ベースボール型／基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防ができる。（ソフトボール、キックベース）
武道	・柔道／相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易の攻防ができる。
ダンス	・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせてリズムに乗って全身で踊ることができる。

保健分野、体育理論

運動やスポーツの多様性の理解、意義や効果や安全を身につける、文化、スポーツの意義課題発見し解決
健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康環境について関心を持ち、考え、知識と理解を深める。

評価計画　★各分野、各単元において下記の資料を総合して評価します。

①定期考査　②実技・審判や計測等・実技テスト
③授業の出席状況、意欲　④提出物（自己評価カードなど）
⑤保健授業、体育理論　⑥授業時の取り組み（行動観察）

★観点別評価と各評価資料との関係

観点項目	割合	①考査	②実技	③授業	④提出	⑤理論	⑥取組	指導の重点や評価するにあたって重視することがら
知識　技能	100%	○	○	○	○	○	○	各種目の知識　技能の程度　技能テスト
思考 判断 表現	100%	○	○	○	○	○	○	創意工夫と安全確保 自己や他者に考えを伝えている
主体的に学習に取り組む態度	100%		○	○	○		○	自己の責任を果たし、助け、教え合い、マナーやフェアプレイを大切にする

★別に配布される　「各教科間計画　保健体育・評価規準」に表記されていることが　評価「B」となります。

技術1～３年　評価計画（技術科は家庭科と合算して評価を行います）

1　評価規準

題材・内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
材料と加工の技術	生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び，材料と加工の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解しているとともに，製作に必要な図をかき，安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして，課題を解決する力を身に付けているとともに，よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて材料と加工の技術を評価し，適切な選択と管理・運用，改良，応用する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
生物育成の技術	生活や社会で利用されている生物育成の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び，生物育成の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解しているとともに，安全・適切な栽培または飼育，検査等ができる技能を身に付けている。	生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに，よりよい地域社会の構築を目指して生物育成の技術を評価し，適切に選択，管理・運用，改良，応用する力を身に付けている。	よりよい地域社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。
エネルギー変換の技術	生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み，保守点検の必要性及び，エネルギー変換の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解しているとともに，安全・適切な製作，実装，点検及び調整等ができる技能を身に付けている。	災害時に想定される問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに，安全な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術を評価し，適切に選択，管理・運用，改良，応用する力を身に付けている。	安全な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
情報の技術	生活や社会で利用されている情報の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な情報の仕組み，情報モラルの必要性及び，情報の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解しているとともに，安全・適切なプログラムの制作，動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。	生活や社会の中から双方向性のある情報のやりとりに関わる問題を見いだして，必要な機能をもつコンテンツの設計・制作などの課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして，課題を解決する力を身に付けているとともに，よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて情報の技術を評価し，適切な選択と管理・運用，改良，応用する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，情報の技術を工夫し創造しようとしている。

2　評価の方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査

・課題(ワークシート・振り返りシート)

・作品

・授業の取り組み

②観点別評価と各評価の関係

◎・・・とても重視する

○・・・重視する

	重みづけ	定期考査	課題	作品	授業の取り組み	指導に当たって重視することがら
知識・技能	50	◎	○	◎		生活と技術についての基礎的な理解を図れている。またそれらにかかる技術を身に付けていること。
思考・判断・表現	50	○	○	○	◎	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、改善や表現をすることができること。
主体的に学習に取り組む態度	50			○	◎	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとしていること。

教科：技術・家庭（家庭分野）

1　評価規準　　・以下の規準が「B」に相当します。

編・章	評価規準		
	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
家庭分野のガイダンス	家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	・自立と共生について考えようとしている。
A　家族・家庭生活 1. 自分の成長と家族・家庭生活 2.幼児の生活と家族 3.幼児との関わり 4.家庭生活と地域の関わり 5.持続可能な家庭生活	幼児の発達と生活の特徴や幼児にとっての遊びの意義を理解している。 家庭と家族の相互関係を理解し、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。 介護など高齢者との関わり方に ついて理解している。	幼児とのより良い関わり方についての問題を見出して課題を設定し、工夫をうや改善策を考えることができる。 高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	自分も家庭生活や地域を支える一員として、生活をより良くするために積極的に取り組もうとしている。 高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
B　衣食住の生活（食生活） 1. 食事の役割と食習慣 2.中学生に必要な栄養を満たす食事 3.さまざまな食品とその選択 4.日常食の調理 5.地域の食文化 6.献立づくり 7.持続可能な食生活	1日に必要な食品の種類と概量を理解し、1日分の献立作成ができる。 調理に関する安全と衛生や、肉・魚・野菜など取り扱い方を理解し、材料に適した加熱調理をすることができる。 地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	1日 分の献立について問題を見いだして課題を設定し、健康に良い食習慣をふまえて1日分の献立作成について考えて工夫・表現することができる。 社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。	食生活を工夫し創造しようとしている。 食生活における日本の生活文化を継承するために積極的に学習し、食生活の課題を踏まえて改善しようとしている。
B　衣食住の生活（衣生活） 1.目的に応じた衣服の選択 2.日常着の手入れと保管 3.生活を豊かにするもの 4.持続可能な衣生活	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解し、材料に応じた日常着の手入れができる。 製作に適した縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫できる。 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考えて製作を工夫・表現することができる。	衣生活における日本の生活文化に関心を持ち、継承しようとしている。 製作品を活用することを通して、資源や環境のために改善に向けて取り組もうとしている。
B　衣食住の生活（住生活） 1.住まいの働きとここちよさ 2.安全な住まいで安心な暮らし 3.持続可能な住生活	家族の生活と住空間との関わりがわかり、住居の基本的な機能や家庭内事故の予防など住まいの安全対策について理解できている。	家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫できる。 社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	商品の選択と金銭管理について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、住生活を工夫しようとしている。 住生活における日本の生活文化を継承しようとしている。
C消費生活 1.家庭生活と消費 2.購入・支払いと生活情報 3.消費者被害と消費者の自立 4.持続可能な社会	購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について理解している。 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	物資・サービスの選択に必要な情報を 活用して購入について考え、工夫することができる。 身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫することができる。	身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとすしている。 計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造しようとしている。

2　評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査(期末)　・授業(実習・作業)の取り組み・提出物・作品

②観点別評価と各評価との関係

・観点別評価で各資料がどのくらいのウェイトを占めるかを示しています。

◎…とても重視する　　○…重視する

	重みづけ	期末考査	提出物・作品の内容	小テスト	授業の取り組み
知識及び技能	100%	◎	◎	◎	◎
思考力・判断力・表現力	100%	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100%		◎		◎

令和６年度　第３学年　英語科　評価計画

１．評価基準

・観点別学習状況の「Ｂ」に相当するものが、評価規準です。

＊以下のすべてを①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。

Unit0　受け身(受動態)	・受動態を用いて相手に尋ねたり、適切に応答することができる。 ・受動態の文構造を正しく理解することができる。
Unit１　現在完了形(経験) 肯定文・疑問文・否定文 SVOC（C＝形容詞） SVOO（that 節）	・現在完了形(経験用法)を用いて理解したり伝えたりするために情報を整理して要点を捉えたり伝えたりすることができる。 ・make +(代)名詞＋形容詞等の理解をもとに人の気持ちや状態の変化について理解し、SVOC(that 節)等の簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ・SVOO(that 節)等の理解をもとに人や物が私たちに伝えることを理解したり表現することができる。
Unit２　現在完了形 （完了・継続・完了進行形） 肯定文・疑問文・否定文	・現在完了形（完了・継続・完了進行形）を用いて正しく書いたり、聞いたり、質問したり、応答したり、話したりできる。
Unit３ It+be 動詞+(for)+to 不定詞 S+V(want など)+O(人)+to 不定詞 let[help]+(人など）+動詞の原形	・It+be 動詞+(for)+to 不定詞の文型を用いて正しく適切に表現できる。 ・S＋V(want など)+O(人)+to 不定詞の文を正しく書くことができる。 ・let[help]+(人など）+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解して正しく適切に表現できる。
Unit４　間接疑問文 SVOO(what 節) 現在分詞・過去分詞の文 後置修飾の文	・間接疑問文の構造を理解し、書いたり、聞いたり、質問したり、応答できる。 ・SVOO(what 節)などの理解をもとに要点を捉えたり伝えたりすることができる。 ・現在分詞・過去分詞の後置修飾の文構造を理解することができる。 ・現在分詞・過去分詞の後置修飾の文を用いて、書いたり、聞いたり、質問したり、応答することができる。
Unit５　名詞を修飾する文(接触節) 関係代名詞(主格) who, which, that の文 関係代名詞(目的格) which, that の文 接触節(関係代名詞の省略)	・名詞を修飾する文(接触節）の形・意味・用法を理解し、要点を捉えたり、情報を加えて説明できる。 ・関係代名詞(主格・所有格・目的格)の文構造を理解することができる。 ・関係代名詞を用いて、書いたり、質問したり、応答したり、読んだりできる。 ・接触節(関係代名詞の省略)の文構造を理解することができる。

Reading： Let's Read 1,2,3 Optional Reading	・物語の内容について正しく聞き取る・読み取ることができる。 ・学習した語や連語、様々な表現・文法に関する知識を確認することができる。
Let's Write 1,2,3 Let's Listen 1,2,3,4,5	・自分の意見とその理由や根拠を書くための基本的な構成や表現を理解し、基本的な構成や表現を用いて、自分の意見を書くことができる。 ・未知語に対応して内容を聞き取る方法を理解し、必要な情報を聞きとることができる。

2，評価方法

① 下記の資料を総合して評価します。

・ 定期考査（中間・期末・学年末）

・小テスト(単元テスト)・単語テスト

・ 授業のプリント、提出物(ノート・ワーク・宿題等)　・振り返りシート(各単元ごと)

・ 音読(暗唱)テスト　・発表テスト(スピーチ)　・ 授業時の取り組み

② 観点別評価と各評価資料との関係

・観点別評価で、各資料がどの位のウエイトを占めるかを示しています。

	重みづけ	中間考査	期末考査	小テスト	単語テスト	音読・発表テスト	問題集・ノート提出	授業プリント	授業時の取り組み	持ち物・忘れ物	振り返りシート	指導の重点や評価するにあたって重視することがら
知識・技能	100	◎	◎	◎	◎		◎	◎				英語の特徴や決まりに関する事項を理解し、その内容を捉える技能を身につけている。
思考・判断・表現	100	◎	◎	○		◎		◎	○			コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について必要な情報や概要や要点を捉え、伝えあっている。
主体的に学習に取り組む態度	100	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	外国語の背景にある文化に対する理解を深め主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。